

令和3年中に九州管内で発生したガス事故(ガス事業法関係)について、次のとおりお知らせします。

令和4年1月20日現在
九州産業保安監督部

番号	事故発生日	事故発生場所	ガス事業区分	事故の種類 (被害の程度) 【段階別】	事故概要
1	1月16日	鹿児島県	小売	漏えい着火 (物損) 【消費】	RF式ガス風呂釜の使用時に、リモコン表示が点滅し焦げ臭い匂いがするため、点検したところ、機器内部が焼損していた。原因は、ガバナ(バーナーに送る圧力を一定に保つ役割)のダイヤフラムに亀裂があり、燃焼時に当該部分から漏えいしたガスに引火したことによる。なお、経年劣化によりダイヤフラムに亀裂が生じたと推測される。 【原因:RF式ガス風呂釜の引火物損】
2	2月17日	福岡県	小売	引火物損 (物損) 【消費】	検針時マイコンメーターの警告ランプ(長時間使用警報:遮断はなし)が点灯していたため、緊急時対応部署が出動し、レンジフード型FF式給湯器のケーシングが変形していることを確認した。電磁弁に異物の付着があり、「弁閉」の状態少量のガス通過が確認された(異物除去後はガス通過無し確認)。何らかの原因で排気口が閉塞されたこと、もしくは、電磁弁が一時的に閉弁遅れとなったことで燃焼室内に未燃ガスが滞留し、点火時のスパークにより異常着火となったものと推測される。 【原因:FF式給湯器の引火物損】
3	2月24日	福岡県	小売	引火物損 (物損) 【消費】	需要家からFF式給湯器を使用時、爆発音がしたと連絡があり、現場確認したところ、レンジフード型FF式給湯器のケーシングが変形していた。何らかの原因で排気口が閉塞されたこと、もしくは、電磁弁が一時的に閉弁遅れとなったことで燃焼室内に未燃ガスが滞留し、点火時のスパークにより異常着火となったものと推定される。 【原因:FF式給湯器の引火物損】
4	2月28日	長崎県	一般導管	ガス栓の損壊 (物損) 【消費】	需要家がガス栓を開け、ガスコンロを点火したところ、ガス栓の内部部品が突然飛び出し、噴出したガスにガスコンロの炎が引火した。需要家が消火器により消火し、屋外のメータガス栓を閉止した。数日前の消費者機器調査時、ガス栓を分解してグリスアップをしており、内部部品(リング)が所定の位置に固定されていなかったため、ガス栓の操作を行った際、内部部品が外れたと推測される。 【原因:ガス栓の損壊】
5	3月30日	福岡県	一般導管	供給支障 【供給】	需要家から「ガスが出ない」との通報により、調査した結果、当該地区のガス管に水が流入していることを確認。周辺需要家118戸が供給支障となった。配水管の漏水に伴うサンドブラスト現象により当該ガス管の一部を損傷し、当該箇所から水道水が流入したものとみられる。 【原因:差し水(サンドブラスト)】
6	5月23日	鹿児島県	一般導管	供給支障 【供給】	需要家から「ガスの出不良」の通報あり。本管設置の水取器を調査したところ差し水を確認。片ガス供給域であることから水取器から下流側6建物(開栓メータ数78個)を保安閉栓した。原因は、重機のもと思われる縦軸方向の傷があることから、他工事によるものと推定される。また、本路線においては、同様の被覆損傷剥離の可能性が否定できないため、試掘調査を行い、調査結果に基づき入替工事を実施する。 【原因:他工事】
7	5月21日	福岡県	小売	漏えい着火 (物損) 【消費】	需要家からCF風呂釜修理の依頼を受け、協力企業が修理で訪問した際、風呂釜ガスバーナーの配線部に焼痕があることを確認した。メーカーへ調査を依頼したところ、原因は経年劣化によりダイヤフラムに亀裂が生じ漏洩したガスに引火、機器内部の損傷に至ったものであり、当該機器は2007年のリコール品であった。2007年のリコール時に当該機器を除く全ての機器については、部品交換を完了していたが、今回の事故を起こしたガス機器についてはデータベースの型番の入力が間違っていたため部品交換されていなかったものである。 【原因:ダイヤフラムの経年劣化及びリコール管理の不備】
8	6月19日	鹿児島県	小売	漏えい着火 (物損) 【消費】	需要家がコンロを使用する際、2口ガス栓の不使用側に火がつき、ソフトコードとガス栓キャップの一部を焼損した。原因は、不使用ガス栓のツマミが「開」状態になっており、誤開放とみられる。また、ガス栓キャップは老朽化により気密性が落ちた状態であった。不使用ガス栓のツマミが「開」状態であったことについては、前日に他業者による流し台の入替作業を行っていたが、事故との因果関係は不明。 【原因:不使用ガス栓の誤開放】
9	7月7日	福岡県	一般導管	供給支障 【供給】	需要家から「ガスが出ない」との通報によりガス事業者が調査したところ、当該地区のガス管内に水が流入し滞水していることを確認した。当該事業者調査の結果、滞水箇所上流の本管(ダクタイル鋳鉄管)に腐食孔があったことから、原因は降雨等により地下水位が上昇し、腐食孔からガス管内に地下水が流入したものと推定。腐食孔部分の入替修理及び沿線ガス管の漏えい調査を実施し、漏えいがないことを確認した。また、当該箇所一帯で滞水が無いことを一定期間確認することとした。 【原因:ガス管の腐食】
10	8月4日	長崎県	小売 (特定)	漏えい着火 (負傷) 【供給】	工事会社が、需要家敷地境界部の供給管(PE管)を、スクイズオフ工法(ガス管を潰してガスを遮断する方法)にて、撤去する工事を実施中、供給管の周りをはつるため、電動ピックを使用した際、掘削箇所滞留していたLPガスに着火し、掘削溝で作業していた作業員が負傷した。PE管を完全に押しつぶしておらず、ガスの遮断が不十分だったため、LPガスが漏えいしたものと推定。なお、当該ガス会社では、今回の工事のような場合、電動ピックを使用することは禁じていたが、負傷した作業員の独断により使用していた。 【原因:スクイズオフ遮断不十分】
11	8月14日	長崎県	一般導管	供給支障 【供給】	崖崩れにより整圧器が損壊。安全のため周辺 需要家への供給を停止。供給支障戸数は周辺需要家678戸。希望者155戸に対してカセットコンロを配布した。当該整圧器は撤去し、近隣ネットワークから低圧供給に変更。 【原因:自然災害(崖崩れ)】
12	8月15日	福岡県	一般導管	供給支障 【供給】	需要家から「ガスが出ない」との通報が入り、ガス事業者が調査した結果、当該地区のガス管内に水が流入し滞水していることを確認した。供給支障戸数は周辺需要家44戸。抽水作業を行い供給を再開していたところ、8月20日に再度同様の事故が発生、供給圧力の低下によりマイコンメーターが作動し、ガスを遮断していることを確認した。(34戸)継手接合部の増締め、防食措置を実施し漏えいがないことを確認。水取器を設置し半月滞水がないことを確認。 【原因:地盤の緩みに伴う応力によりPE管継手接合部が変形し隙間が発生し、地下水流入】

番号	事故発生日	事故発生場所	ガス事業区分	事故の種類 (被害の程度) 【段階別】	事故概要
13	8月15日	福岡県	一般導管	供給支障 【供給】	需要家から「ガスが出ない」との通報が入り、ガス事業者が調査した結果、当該地区のガス管内に水が流入し滞水していることを確認した。供給支障戸数は周辺需要家31戸。(集合住宅2棟) 原因は腐食部からの地下水流入であり、別ルートからの供給に切り替え。 【原因:本管(ダグタイル鑄鉄管)の腐食部分からの地下水流入】
14	8月22日	福岡県	一般導管	供給支障 【供給】	需要家から「ガスが出ない」との通報が入り、ガス事業者が調査した結果、当該地区のガス管内に水が流入し滞水していることを確認した。 供給支障戸数は周辺需要家69戸。 給水管からの漏水によるサンドブラスト現象で灯外内管(白管)の一部を損傷し、損傷箇所より水道水が流入したものと思われる。 損傷を受けた灯外内管からの流入を防止するため、供給管の切断工事を行った。 【原因:差し水(サンドブラスト)】
15	9月14日	鹿児島県	小売 (特定)	漏えい着火 (負傷) 【消費】	集合住宅の浴室において何らかのガスが漏えいし着火した。 需要家によると、風呂釜(バランス釜)に点火したタイミングで爆発が起こったとのこと。ただ、バランス釜の変形や内部での異常燃焼が確認できないことから、爆発はバランス釜の外部で起こっていると考えられ、消防が持ち帰り調査したものの原因は不明。 【原因:不明】
16	12月11日	鹿児島県	小売	CO中毒 (負症) 【消費】	鹿児島市内の焼肉店において、CO中毒事故が発生し、客3名が罹災(軽症)した。 ガス事業者の調査によると、消費機器、給気、排気については特に問題は見つからないものの、エアコンの容量や風向き、当日の使用状況から排気フードでの排ガス収集が妨げられ、給気口からの外気が排気フードへとシャートサーキットを起こし、徐々に酸素濃度が低下し不完全燃焼となり一酸化炭素が発生したと推定。 【原因:給排気バランス不良】